



報道関係者各位

NEWS RELEASE

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社

<http://www.efjapan.co.jp/>

2017年11月10日

世界80か国の受験データをもとに英語能力動向を分析 2017年EF EPI 英語能力指数報告書、日本は37位とわずかに下落 ～日本人の英語能力の停滞も示唆～

留学・語学教育事業を展開する世界最大規模の私立教育機関、イー・エフ・エデュケーション・ファースト(EF Education First、以下 EF)の日本法人であるイー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 サンチョリ・リー)は本日、語学能力評価基準 CEFR(セファール)に準拠した EF EPI 英語能力指数(EF English Proficiency Index、以下 EF EPI)の2017年版報告書に基づき、非英語圏各国の英語力レベルの世界ランキングを発表しました。

EF EPI は、過去に実施された英語能力テストの結果データに基づき、英語能力を経年的に計測、追跡する世界規模のベンチマークとして開発された指数で、無料の英語能力測定テストから得られるビッグデータを利用してすることで、世界規模の広範かつ標準化された指標データを提供できることが特徴です。また、CEFRに準じているため、TOEFL や TOEIC、IELTS など既存のスコアへの換算も可能です。

今年で7回目となる EF EPI 英語能力指数報告書は、調査対象国¹が前年度より7か国増え、世界80か国、100万人以上の英語学習者(18歳以上)の無料英語能力測定テストEF SET²のデータを用いて作成されました。世界ランキングでは、前年に続いてオランダが1位となったほか、ヨーロッパ各国がランキング上位を占める結果となりました。日本は、2016年調査に比べ2ランク下落の37位、EF EPI スコア(数値)では、ほぼ横這いの51.69ポイント(+0.65ポイント)にとどまり、日本人の英語能力は停滞していることが明らかになりました。

■ 2017年EF EPI 英語能力指数報告書の主なポイントは以下となります。

1.日本の順位、動向について

日本の順位は、昨年11月に発表された「2016年EF EPI 報告書」の順位(72か国中35位)から2位ランクダウンし、80か国中37位(能力レベルの分布では“低い英語能力”に位置)となりました。また、EF EPI スコアはほぼ横這いの+0.65ポイントとなり、スコア下落が顕著であった昨年より挽回したものの、7年連続で日本人の英語能力レベルは低下していることが明らかになりました。

¹ この指標には、受験者が400人を超える国のデータのみを使用しています。多くの国において受験者数は400人を大きく上回っており、合計80の国と領域が対象国に含まれています。

² EF SETには、コンピュータ適応型階層システムを導入し、受験者の英語能力に応じた設問を出題するアダプティブテスト形式を採用。従来テストに比べより幅広いレベルの能力を測定することができ、大学や組織単位の語学力の測定、統計分析も可能です。各国の教育機関での導入が進められているほか、東京大学やハーバード大学での研究にも利用されています。



2.アジア諸国の動向

昨年に続き、アジア諸国で最もランキングの高い国はシンガポール(80か国中5位)となりました。EF EPIスコアでも、シンガポールは+2.51ポイントと昨年よりさらに大きく伸び、著しい上昇を続けています。また、タイもスコアを大きく伸ばし(+2.57ポイント)、能力レベルが“非常に低い”から抜け出す一方、インドやカザフスタンが下落したほか、カンボジア、ラオスが能力レベルが最も低い下位10%に位置するなど、アジア地域内の能力格差が一段と開いた結果となりました。

3.ランキング上位国について

昨年同様、2017年調査でもヨーロッパが最も英語能力が高い地域となり、オランダが2年連続1位を獲得、また、北欧3か国(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー)がそれに続きました。トップ10にはヨーロッパ諸国がひしめくな、シンガポールが5位にランクアップ(2016年6位)、また初参加の南アフリカが8位にランクインしました。

4.都市別能力指数の動向

都市別の動向では、東京が昨年に続き最も高い指数54.81を示すものの、昨年より1.37ポイント下落しました。一方、横浜市は昨年より1.34ポイント伸び52.86をマークし、関東地域の数値が下落傾向の中、都市別では最も高い伸びとなり、英語能力レベルも“低い”から標準的へと改善しました。

本調査を踏まえ、EF研究所所長兼EF SETアカデミック・シニア・ディレクターのMinh N. Tranは次のように述べています。「現在のグローバル環境において英語は国際コミュニケーションに不可欠であり、教育現場のみならず政府や企業においても自国の英語能力の向上に多大な投資が行われています。こうした中、EF EPIは世界各国の英語能力レベルを経年的、俯瞰的に把握するのに役立っています。今後も英語教育の課題や教育方法の議論に貢献するものと期待しています」とコメントしています。

なおEFでは、2017年EF EPI英語能力指数報告書と合わせ、中高生、大学生、専門学校生の英語スキル習得を調査した学校向けEF英語能力指数EF EPI-s 2017年報告書も公開しています。

2017年EF EPI英語能力指数報告書の全文、およびEF EPIと外部指標との相関関係の分析、2017年EF EPI-s報告書の詳細は以下のページでご覧いただけます。

<http://www.efjapan.co.jp/epi/>

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社について

1965年に、『Education First(教育を第一に)』をモットーにスウェーデンで設立したイー・エフ・エデュケーション・ファーストは、世界最大規模の私立教育機関です。現在では世界53か国以上の国々に500を超える事業拠点、及び、直営語学学校を擁し、語学留学プログラム等、グローバルに教育事業を展開しています。

本件に関する報道関係のお問い合わせ

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社

担当: PRマネージャー遠藤玲奈 TEL: 03-5774-6206 E-mail: reina.endo@ef.com

添付資料

2017年 EF EPI 英語能力指数ランキング

順位	国	EF EPI スコア	英語能力 レベル	順位	国	EF EPI スコア	英語能力 レベル
1	オランダ	71.45	非常に高い	41	ブラジル	51.92	低い
2	スウェーデン	70.40	非常に高い	42	マカオ	51.87	低い
3	デンマーク	69.93	非常に高い	43	ウルグアイ	51.73	低い
4	ノルウェー	67.77	非常に高い	44	メキシコ	51.57	低い
5	シンガポール	66.03	非常に高い	45	チリ	51.50	低い
6	フィンランド	65.83	非常に高い	46	バングラデシュ	50.96	低い
7	ルクセンブルグ	64.57	非常に高い	47	ウクライナ	50.91	低い
8	南アフリカ	63.37	非常に高い	48	キューバ	50.83	低い
9	ドイツ	62.35	高い	49	パナマ	50.68	低い
10	オーストリア	62.18	高い	50	ペルー	50.50	低い
11	ポーランド	62.07	高い	51	コロンビア	49.97	低い
12	ベルギー	61.58	高い	52	パキスタン	49.88	低い
13	マレーシア	61.07	高い	53	タイ	49.78	低い
14	スイス	60.95	高い	54	グアテマラ	49.52	低い
15	フィリピン	60.59	高い	55	エクアドル	49.42	低い
16	セルビア	59.37	高い	56	チュニジア	49.01	低い
17	ルーマニア	59.13	高い	57	アラブ首長国連邦	48.88	低い
18	ポルトガル	58.76	高い	58	シリア	48.49	非常に低い
19	ハンガリー	58.61	高い	59	カタール	48.19	非常に低い
20	チェコ共和国	57.87	高い	60	モロッコ	47.91	非常に低い
21	スロバキア	57.63	高い	61	スリランカ	47.84	非常に低い
22	ブルガリア	57.34	標準的	62	トルコ	47.79	非常に低い
23	ギリシャ	57.14	標準的	63	ヨルダン	47.40	非常に低い
24	リトアニア	57.08	標準的	64	アゼルバイジャン	46.97	非常に低い
25	アルゼンチン	56.51	標準的	65	イラン	46.60	非常に低い
26	ドミニカ共和国	56.31	標準的	66	エジプト	46.51	非常に低い
27	インド	56.12	標準的	67	カザフスタン	45.95	非常に低い
28	スペイン	56.06	標準的	68	ベネズエラ	45.71	非常に低い
29	香港	55.81	標準的	69	エルサルバドル	45.70	非常に低い
30	韓国	55.32	標準的	70	オマーン	44.48	非常に低い
31	ナイジェリア	54.74	標準的	71	モンゴル	44.21	非常に低い
32	フランス	54.39	標準的	72	サウジアラビア	43.98	非常に低い
33	イタリア	54.19	標準的	73	アンゴラ	43.49	非常に低い
34	ベトナム	53.43	標準的	74	クウェート	43.14	非常に低い
35	コスタリカ	53.13	標準的	75	カメルーン	42.45	非常に低い
36	中国	52.45	低い	76	アルジェリア	42.11	非常に低い
37	日本	52.34	低い	77	カンボジア	40.86	非常に低い
38	ロシア	52.19	低い	78	リビア	38.61	非常に低い
39	インドネシア	52.15	低い	79	イラク	38.12	非常に低い
40	台湾	52.04	低い	80	ラオス	37.56	非常に低い

日本の地方／都市別ランキング

2017年

地域	EF EPI	都市	EF EPI	地域別比較値
関東	53.14	東京	53.44	+0.30
中部	52.78	横浜	52.86	-0.28
関西	52.10	川崎	52.55	-0.59
北海道	50.39	名古屋	52.39	-0.39
中国	49.88	京都	52.36	+0.26
九州	49.44	神戸	52.19	+0.09
		大阪	51.67	-0.43
		千葉	51.62	-1.52
		埼玉	51.23	-1.91
		札幌	50.82	+0.43
		福岡	49.61	+0.17

2016年

地方	EF EPI	都市	EF EPI	地域差
関東	53.45	東京	54.81	+1.36
関西	52.63	神戸	54.51	+1.88
中部	52.19	京都	53.92	+1.29
九州	51.67	名古屋	53.11	+0.92
中国	51.34	大阪	52.18	-0.45
東北	50.21	札幌	51.55	+2.09
北海道	49.46	横浜	51.52	-1.93
		福岡	51.43	-0.24

能力指標 ● 非常に高い ● 高い ● 標準的 ● 低い ● 非常に低い